

ファイナルレポート

## 国際ハードウエア・メッセ / プラクティカル・ワールド 2008

会期: 2008年3月9日(日) ~ 12日(水)

会場: ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

## ケルンが再び世界のハードウエア・DIY 産業の中心点に

好況に沸くツール業界 - 出展者側もビジター側もこれまでになく高い国際性 - 専門ビジターは最高のレベル - プロ向けイベント、DIY にも初めてのイベント。

世界のハードウエアおよびDIY 業界がケルンに集結する「国際ハードウエア・メッセ / プラクティカル・ワールド 2008」は、4 日間の会期を終え 2008 年 3 月 12 日に閉幕しました。世界約 130 カ国から約 70,000 人が、世界でも主要な見本市であるこのメッセを訪れ、工具、セキュリティ・システム、ロックや金具類、建築資材や日曜大工 / DIY 用品に関する情報を集め、新たなパートナーを見つけ、これまでのコンタクトをさらに深めました。ケルンメッセのオリバー・クアト副社長は「ハードウエアとDIY 業界が、またケルンに来てくださったことを喜んでいきます。これまでになく高い国際性、専門ビジターのレベルの高さ、独自の展示の組み合わせにより、国際ハードウエア・メッセ / プラクティカル・ワールドは、業界にとって必要不可欠なものになっています。」また、ホール 6 と 7 は、初めてエンドユーザーにも開放されました。専門ビジターに加え、約 7000 人の一般の入場者が来場しました。

### ツールの出展が盛況

61 カ国から合計 3,375 社が、「工具」「セキュリティ・システム、ロック、金具」「Home Improvement / DIY (建築資材・DIY 用品)」の部門で、総展示面積 19 万 5 千平方メートルのスペースを利用し、新製品や新技術を紹介しました。「工具」部門は 2,600 社と、今回も最も多くの出展がありました。「セキュリティ・システム、ロック、金具」では、310 社が製品を出展しました。またDIY 市場も約 450 のメーカーが新製品・新技術を展示し、十分に存在感を示しました。

### 高い国際性

「この見本市は、国際的ビジネスのために不可欠だ。」というのが、国際ハードウエア・メッセ / プラクティカル・ワールドの出展者の共通した考えです。エデュアルド・ヴィレ有限会社の社長で、見本市の専門審議会の会長である Dr.ミヒャエル・ルーケ氏は、次の様に総括しました。「多くの革新的技術、世界のビジネスパートナー、価値あるコンタクトや対話により、2008 年も国際ハードウエア・メッセ / プラクティカル・ワールドは、国内および外国の販売会社やメーカーにとって、最高の

プラットフォームになりました。」また、グループで見本市に参加した企業の大部分も満足でした。アメリカのハードウェアメーカー連合の会長でありCEOのティモティ・S・ファレル氏は、「国際ハードウェア・メッセ / プラクティカル・ワールドは、アメリカの高品質な製品を世界市場に売り込む、最も良い機会です。」と述べています。またイタリアの出展者は、「ドイツや外国の販売会社と、非常に良いコンタクトが得られました。国際ハードウェア・メッセは、ぜひ出なくてはならない見本市です」とコメントしています。またイスラエルのグループ出展者はこれに補足し、「2008年のプラクティカル・ワールドに参加した事を喜んでます。同種の見本市の中では、最も重要なもののひとつです。」と述べました。

### **業界の大半は、経済動向に楽観的**

見本市に参加した各業界は、現在の経済動向に関して、全体として自信のある態度を示しています。特に2008年に5%の伸びを見込むドイツのツール業界は、ドイツ工具の国際的位置づけをさらに強化するため、見本市を活用しました。ドイツ工具産業協会(FWI)ライナー・ランゲリュデック専務理事は、「ドイツのツールメーカーにとって、国際ハードウェア・メッセ / プラクティカル・ワールドは、世界に『メイド・イン・ジャーマニー』の実力を見せる、最も良い場でした。」と述べました。関心の焦点となったのは、各展示部門で紹介された、多くの革新技术だけではありません。ビジネスの場としてのケルン見本市も、参加者の大きな関心を集めました。ハードウェア販売業中央連盟(ZHH)のトーマス・ダンマン会長は、「興味深い新製品や多くのメーカーの活動を見ると、もっとドイツの販売業界が参加しても良かったと思いますが、それでもこの見本市は、コミュニケーションのプラットフォームとして成果をあげました。多くの興味深い会話が交わされ、雰囲気良かった事が、これを裏付けています。」と述べました。プラクティカル・ワールドをエンドユーザーに開放したことへの評価は、様々に分かれました。BAU + DIY メーカー連盟のDr.ペーター・ヴェルスト専務理事は、「ハードウェアメッセは、ヨーロッパの『ハードウェア業界が集まる中心点』としての意義を確認しました。ケルン見本市会場の刷新、新イベントや様々な活動は、業界の専門ビジターに大きなモチベーションを与え、心を動かしました。縮小されたプラクティカル・ワールドでは、革新的なテーマを展示し、メディアで盛んに報道されました。しかし新しいコンセプトは、参加者に受け入れられなかったため、調整の必要があります。」と述べています。また、ドイツDIY・ホームセンター・ガーデニングセンター連盟のジョン・W・ヘルベルト専務理事は次のように述べました。「プラクティカル・ワールドの新しい方向性は、ひとつの実験でした。見本市終了後、販売会社やメーカー、ケルンメッセ会社が集まって、新コンセプトに関し再度話し合う必要があります。」同氏はこれに補足し、ヨーロッパDIY小売業連合(EDRA)の会長の立場から、「しかし、私達はホームセンター業界の多くの国際的トップ企業から、高い評価を受けました。ケルンメッセのサービスのおかげで、世界中から来たお客様が、メッセ会場で快適に過ごしました。」と述べています。

### **今回も質の高かった専門ビジター**

あらゆる分野において、専門ビジターの質が非常に高いという出展者の評価は、ビジターを対象

とする、第一回の中立的アンケートで確認されました。これによると、アンケートに応じた人の88%は、購買決定に関与・助言する立場で、42.3%は購買に関して決定的影響力を持つ責任者でした。同様に、専門ビジターの約40%は様々な形態の販売会社から来場し、来場者の約四分の一はメーカーから来ていました。インタビューを受けた人の71.1%は、メッセの目的の達成度に関し、満足ないしは非常に満足だと答えました。メッセのサービスは良い評価を受け、アンケートに参加した来訪者の80.8%は、良い、又は非常に良いと回答しました。また70%近くが、2010年のケルン国際ハードウェア・メッセ / プラクティカル・ワールドの際にも、必ず又はたぶん、ケルンに来たいと答え、24.1%はまだ決めていないということでした。またほぼ90%の人が、仕事上の良い友人にこのメッセの訪問を薦めると答えました。

## **製品とイノベーション - トレンド**

### **工具**

効率が高く、安全で使いやすい - これが、今日のイノベティブな工具の評価基準です。国際ハードウェア・メッセ / プラクティカル・ワールドで重要なのは、単なるアソートメントの補充や展開ではなく、新たなソリューションの提供なのです。これによって、工具を使う可能性をさらに拡大し、作業をより快適にし、最終的には時間の節約にもなります。例えば、従来品よりも速くボルトを締められる、新型のソケットレンチがその例です。あるいは、人間工学に基づいて角度をつけたペンチは、人間の手と腕を自然な形で延長することになるので、手の力を最大限に利用することができます。充電式タッカー、充電式高圧洗浄機、簡単なハンダ付け作業を全てこなすハンダごてなど、あらゆる充電式ツールのトレンドが続く中で、作業の快適性は、キーワードとなっています。周辺機器の分野では、ファイバークライナー作業で使う、新特許のスピーディーな冷却・固定システムが、話題を集めました。またツールボックスも人気で、毎年二桁台で伸びています。トレンド商品としては、キャスター付きで作業の手間が大幅に軽減できる、可動式ツールボックスがあります。ツール分野の展示は、ハンドツールから、電動ツールとその周辺機器、作業所や工場の設備機器、産業用資材、小型の金物やねじ類、さらに業界向けの様々なサービスまで及んでいます。

### **セキュリティシステム、ロック、金具**

見本市で注目されたのは、ロックのデータを認識・記憶し、許可された人物がいつでも使えるようにする、新しいロッキング・システムです。この際、セキュリティ・ゾーンに応じて、アクセス権を与えるグループを分けることは、今は標準性能になっています。便利な機能は、クリップボードやCSVファイルによるデータ交換やインポートから、シリンダーやロックを各プロジェクトに直接割り当てる事ができ、小型のクライアント・データベースを備えた、さらに充実したジョブ・マネジメントまで広がっています。また、充実したサーチ機能やソート機能、インプットが簡単なワンキーシステム、ロックプランの表示の為に、簡単なスケール機能なども便利です。今は、キーの権限を付与できるだけでは十分でなく、その権限をいかに安全に管理するかが、注目されています。

これまでは、窓を閉めてセキュリティー・システムを作動しなければ、安全ではありませんでしたが、現在では、少し開けて施錠した窓やテラスドアも、犯罪者の侵入を効果的に防げる様になりました。この、ボタンを押すだけでドアの位置をどこでも固定できる、フレキシブルなドアロックシステムは、使いやすさと安全性を結びつけました。また、どんなに小さい動きにも反応する高周波センサーは、光源のスイッチが必要に応じてオン・オフされ、節電効果と共に安全性もさらに高まります。遠隔操作が可能な可動式の LED ライトも、同様な機能を持っています。

また固定技術においても、作業がかなり楽になります。例えば「インテリジェント」アンカーは、コンクリート、レンガ、石灰砂岩など、異なる材質を認識して対応し、あっという間に石膏ボードにもぐり込み、壁の裏側に固定されて、振動や衝撃にも影響されることがありません。また、イノベーターな丸太材の固定システムは、丸太と丸太、丸太と角材を、プロの技術で確実に固定します。梯子類も安全で安定性がある製品が出て、非常に使いやすくなっています。

この分野で展示されるのは、建築・家具用金具、窓・テラスドア用金具、ドア用ロック、ドア金具とキー、防犯用機器、そして業界向けの様々なサービスです。

#### 「Home Improvement / DIY (建築資材・DIY 用品)

自分でリフォームしたり、積極的に住まい作りをすることは、余暇の過ごし方として人気があります。壁紙貼り、壁塗り・ペンキ塗りなどの通常のリフォームの他に、DIY をする人たちは、より難しい内装工事を行うようになりました。また女性が増え、家族全員での DIY もトレンドになっています。業界でも、リフォームやインテリア工事に挑戦する人のため、大人や子供などに向け、それぞれのニーズに合わせた手引き用意するようになりました。このようなことから、内装工事に必要なあらゆる DIY 用品を、内装をしていない家の中に展示し、石膏ボード施工の説明を行い、必要な関連商品を全てそろえました。また「赤い道具箱」では、8 歳から 15 歳の子供とその親を対象に、鳥の巣箱や、CD ボックス、額縁その他のたくさんの物を、一緒に作れるようになっています。

メーカーにとって最も重要なのは、安全性と使いやすさの向上です。出展されたコンパクトな折りたたみ梯子は、持ち運びが簡単で、革新的なヒンジのシステムにより、必要な高さで安全に固定できるので、特に多様な使い方ができます。

また、人間工学に基づくデザインの高品質な軽量スポンジは、研磨シートをしっかりと保持しながら、手や指は研磨用下敷きには触れないようにします。建築資材・日曜大工用品/DIY の分野では、建築用ケミカル類、内装・室内設備や室内装飾、バス・トイレの設備・機器、電気機器、建築資材、建材と関連商品、エクステリア、建築・日曜大工/DIY 業界向けの各サービスを、来訪者のために展示しました。

#### 絶対許すな不法コピー 「メイド・イン・ジャーマニー」のプラスポイント

ケルンメッセは、国際ハードウエア・メッセ / プラクティカル・ワールドに際し、不法コピーに対し、改めて断固と「レッドカード」を出しました。目立つ場所に「アクション・アドバイスセンター」を設置し、助言を求めるメーカーのための、サポートをまとめました。また、「ツール・ライブ」の舞台での

パネルディスカッション「絶対許すな不法コピー」や、講演会「コピー商品撲滅」では、リド・ブッセ教授(「不法コピー賞」活動の創始者)や、クラウディア・マイア氏(ミュンヘン税関管理局商業権保護本部、税関検査官)など、著名な専門家がこの問題を取り上げました。この他に、専門の連合組織である工具産業協会(FWI)は、独自の活動である「『メイド・イン・ジャーマニー』のプラスポイント」を、見本市活動の中心に据えました。FWIの展示ブース及びパネルディスカッションでは、7つの企業が、自社の企業立地にとって、ドイツのどのような要素が重要かを示しました。

### イベントプログラム:専門ビジターの為のサービスとノウハウ

ホール11.1における「セキュリティ・ライブ - ハイライツ・オンステージ」やホール4.1の「ツール・ライブ - ハイライツ・オンステージ」など、各業界向けのフォーラムでは、「安全」と「ツール」というテーマに関し、情報とエンターテインメントを合わせた、興味深い催しが専門ビジターを待っていました。パネルディスカッションや、参加型イベント、トレンドとイノベーション ここで扱うテーマは、顧客マネジメントから警察による侵入者防止のヒントまで及びました。

### エンドユーザー向けプログラムとヒント

ホール7では、「フォーラム DIYの新たな次元 - 自分で未来を作ろう!」と題して、たくさんのDIY向けの催しが行なわれました。DIYアカデミーの講師が、家に関するDIYの課題を、いかに速く簡単に解決できるかを、新製品を使って軽々とデモンストレーションし、知識を授けてくれました。シャルロッテ・エンゲルハルト氏(「SOS Do it yourself」)は3月9日、サンドラ・タマラ・カスティエスさんを、「2008年ミスDIY」に選び、また「今年のDIY賞」も女性が選ばれました。司会のインゴルフ・リュッケ氏は、雑誌「Selber machen (自分で作る)」が贈るこの賞を、ウタ・シュヴァルツさんに授与しました。また、雑誌「Selbst ist der Mann(自分でやれる)」は、実際にやってみる機会を提供しました。この雑誌はTUVラインラントとの協力で、来訪者が電動ツールをテストできる様にしたのです。会場内のメッセ大通りで、ハンマーを振り下ろしたり、DIYの知識をテストした人にもご褒美がありました。毎日抽選で、最高1000ユーロのホームセンターの買い物券が当たったのです。また見本市では、ホームセンター自体も展示を行いました。トーム・パウマルクト、OBI、ペイ・ワなどが、展示ブースで、リクルート情報や、フランチャイズに関する情報を発信していました。

### 国際ハードウェア・メッセ/プラクティカル・ワールド 2008 に関する数値

国際ハードウェア・メッセ/プラクティカル・ワールド 2008の総展示面積は19万5千平方メートル(2006年は24万7千平方メートル)、出展企業は61(58)カ国から3,375(3,475)社が集まり、その内の77(77)%は外国からの出展でした。ドイツからの出展企業は602(712)社で、これに加えて33(76)社は代理によるドイツ企業の出展でした。また、海外からの出展者数は2,680(2,550)社で、60(137)社が代理による外国企業の出展でした。見本市最終日の試算に拠れば、専門ビジター数は129(143)カ国から63,000(74,890)人、その内の58(56)%は外国からのビジターでした。専門ビジターに加え、約7000人の一般の入場者がホール6と7(日曜大工/DIY用品部門)を訪れました。

た。

次回の「国際ハードウェアメッセ / プラクティカルワールド 2010」は、2010年2月28日(日)から3月3日(水)までにドイツ連邦共和国ケルンメッセ会場にて開催されます。

ケルンメッセに関するお問い合わせは下記までどうぞ。

ケルンメッセ株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-13-1 虎ノ門40MTビル9F

TEL: 03-5405-2202 FAX: 03-5405-2203

E-Mail: [kmjpn@koelnmesse.jp](mailto:kmjpn@koelnmesse.jp) <http://www.koelnmesse.jp>